

理研会報

発行
印教研理科研究部
事務局
成田市立成田小学校
成田市幸町948-1

研究部長挨拶

平成三年度を

迎えて

印教研理科研究部長 公津小学校長 五味 健

地球の怒りを思わせる大噴火や

自分で自分の首を締めるような油
田火災、社会主義国における政治
改革、そして非人間的なテロ行為
などが地球規模で起こっています。
学校という名の教育現場におい
てはどうだろうか。新指導要領や
新指導要領の実施と大きな節目に
来ています。その他、生徒指導上
の問題など山積みされています。
このような時、私たちは理科と
いう教科を通して、子どもに何を
教えるのか。何を学んで欲しいの
か。単に自然科学の知識の伝承で
あつてはならないと思います。

「理科教育」のなんたるかを見つ
め直す時期にあると言えます。
各部会を核とした研究も、研究
主題を大きな視点から見直すこと
が必要ではないでしょうか。
さて、今年度の会員数は昨年度
に比して四三名も増え、四六九名
に達しています。理科同好会とし
て発足したわずかなメンバーの事
を思うと隔世の感があります。

昨年度には二〇〇号記念特集の
「理研会報」の発行を見るに至り
ましたが、これも会員の支えがあ
ることを切望してやみません。

平成三年度

事業計画案

五月十七日

印教研 理科研究部総会

(成田小学校)

六月十九日

研究員 集会

(成田中学校)

*夏休み中

理科実技研修会

理科野外研修会

(各部会単位で実施)

九月十八日

研究員 集会

九月二十四日、二十六日

理科作品展

(成田中学校)

十月 四日

印教研 集会

(成田中学校)

*年間

『理研会報』の発行

*研究学校への協力

印教連指定

白井町立南山小学校

平成三年度

印教研 理科研究部 研究テーマ

一 研究主題

子どもたちが興味を持ち、主体的に参加する理科学習は、
どのようにすればよいか。

一 主題設定の理由

身のまわりには自然がたくさん
あるが、その自然を利用しての理
科学習が行われているかというこ
とになると課題が多く残る現状で
ある。
子どもたちが自然を見つめ、自
然の中にとけこんでいく中で、自
然を自分の身体で受け止め、感
じ取れるような理科学習であろ
うと努力している。
自然に直接働きかけながら観
察実験を行い、それを調べる態
度や技能をどう育てていけばよ
いか、指導法、教材の選択など
を考えていきたい。

平成三年度

理科研究部役員一覧

◎理科研究部長

五味 健 (公津小)

◎理科研究副部長

石田 政光 (佐倉小)

間 宮 哲人 (成田中)

◎各部会理科研究部長

*一部会部長

久 本 邦 夫 (西志津小)

*二部会部長

間 宮 哲 人 (成田中)

*三部会部長

伊 藤 久 男 (大森小)

*四部会部長

古 嶋 美 文 (八街中)

*五部会部長

森 本 敏 彦 (四・北中)

◎理事

一部会

福田 健 (西志津小)

石田 政光 (佐倉小)

佐藤 光廣 (小竹小)

佐藤 久司 (井野小)

飯田 和宏 (佐倉小)

杉山 栄一 (酒々井中)

二部会

川勝 丸重 (成田小)

五味 健 (公津小)

湯浅 潔 (根本名小)

郡司 福男 (酒直小)

山下 万吉 (浩養小)

木川 香 (公津小)

中村 欽哉 (成田中)

寺内 義雄 (栄中)

加藤 弘明 (富里中)

小林 茂 (富里中)

斉藤 政勝 (富里北中)

林田 孝二 (栄中)

三部会

武藤 喜正 (大森小)

伊藤 忠夫 (原山小)

本橋 茂次 (印旛中)

伊藤 久男 (大森小)

四部会

古嶋 美文 (八街中)

五部会

安井 寅蔵 (山梨小)

高橋 正昭 (四街道小)

◎幹事

岩井 睦 (成田中)

佐久間 保男 (成田小)

編集後記

平成三年度 第一号(通算
二百十号)の理研会報 遅く
なりましたが、お届けいたし
ます。

昨年度は、二百号記念号を
皮切りに十号を発行するに至
りました。今年度も、年間十
号を目標にしていきたいと思
っております。

より一層、充実した内容の
ものにしていき、会員の先生
方に少しでも身近な存在であ
る『理研会報』を心掛けて努
力してまいりたいと思ってお
ります。ご協力、よろしくお
願い致します。

印教研 理科研究部事務局

☆投稿等につきましては、各
部会部長にお尋ね下さい。